

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年10月11日(2024.10.11)

【国際公開番号】WO2023/149409

【出願番号】特願2023-578549(P2023-578549)

【国際特許分類】

C 0 8 L 6 9 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 L 2 5 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 L 5 1 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 K 5 / 5 2 1 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 K 5 / 4 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 8 L 6 9 / 0 0

C 0 8 L 2 5 / 1 2

C 0 8 L 5 1 / 0 0

C 0 8 K 5 / 5 2 1

C 0 8 K 5 / 4 2

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリカーボネート系樹脂(A)、

第一重合体(b1)を含む流動性改良剤(B)、及び

コアシェル型弾性体(C)を含有し、

30

前記流動性改良剤(B)の含有量は、前記ポリカーボネート系樹脂(A)と前記流動性改良剤(B)の合計のうち1~15重量%であり、

前記コアシェル型弾性体(C)の含有量は、前記ポリカーボネート系樹脂(A)と前記流動性改良剤(B)の合計100重量部に対して1~30重量部であり、

前記第一重合体(b1)は、当該第一重合体(b1)全体を100重量%とし、芳香族ビニル系化合物50~70重量%と、シアン化ビニル系化合物5~20重量%と、共重合可能なその他のビニル系化合物10~45重量%を構成単量体として含み、

前記第一重合体(b1)の重量平均分子量は、15,000~120,000であり、

前記流動性改良剤(B)は、前記第一重合体(b1)を覆う第二重合体(b2)をさらに含む、ポリカーボネート系樹脂組成物。

40

【請求項2】

前記第二重合体(b2)は、当該第二重合体(b2)全体を100重量%とし、アルキルメタクリレート50~90重量%と、共重合可能なその他のビニル系化合物10~50重量%を構成単量体として含む、請求項1に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

【請求項3】

前記流動性改良剤(B)中、前記第一重合体(b1)の含有量は60~90重量%、前記第二重合体(b2)の含有量は10~40重量%である、請求項1に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

【請求項4】

50

前記コアシェル型弾性体（C）は、ブタジエンゴム又はスチレン/ブタジエン共重合体ゴムを含むコア層と、メタクリル酸メチル、スチレン、及び、アクリル酸ブチルからなる群より選択される少なくとも1種を構成単量体として含む共重合体を含むシェル層とを有する、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

【請求項5】

前記流動性改良剤（B）は、乳化剤としてリン酸系乳化剤またはスルホン酸系乳化剤を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

【請求項6】

前記コアシェル型弾性体（C）は、体積平均粒子径が100nm以上である、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

10

【請求項7】

第三重合体（d1）を含む改質剤（D）をさらに含有し、

前記第三重合体（d1）の重量平均分子量は、150,000～7,000,000である、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

【請求項8】

難燃剤（E）をさらに含有する、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリカーボネート系樹脂組成物。

【請求項9】

請求項1～3のいずれか1項に記載のポリカーボネート系樹脂組成物が成形されてなる成形体。

20

30

40

50